

令和7年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立安方中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・既習の知識や技術を使って多様な表現を試みる生徒が増えた。
- ・タブレットで作品を撮影して記録することや、振り返りの記入が定着した。

(2) 課題

- ・タブレットの活用と、実技教科として作業のバランスをとるようにする。
- ・振り返りの提出ができる生徒とできない生徒の二極化が進んでいる。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
鉛筆や絵の具など、画材の使い方や生かし方の基本を身につけさせる。タブレット端末で動画を共有し、繰り返し見せることで理解を深める。	発想構想から実作業に入るための段取りを考え、自ら資料を準備するなどアイデア創出のための流れを身に付ける。	授業ごとに振り返りを記入することで、見直しをもって制作する習慣を付ける。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
既習の内容を活かして作品制作に取り組むことで、表現の幅を広げられるように指導する。	資料を自ら準備するなどして、豊かに発想して形にしていくことを促す。参考作品の画像を見せて多様な表現につなげる。	鑑賞で視野を広げ作品制作に活かす。相互鑑賞に積極的に取り組む姿勢を育てる。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
既習の技法や表現を自ら選択して組み合わせることで個性ある表現ができるようにする。	自画像制作を通してより自分自身に迫るとともに美術の表現の多様性に目を向け自分らしい表現について深く考える。	相互鑑賞に積極的に取り組み、多様な「よさ」を見つける力を育てる。